

ウダイカンバ [マカバ] (カバノキ科)

山地の適潤地に生える落葉樹で、高さ 20~30m、太さ 80~100cm くらいになる。樹皮が白く、成長が早いので、庭園・公園のほか街路樹としても使われる。葉：長さ 8~16cm、幅 6~10cm、先はとがり、不ぞろいな細かいきざざがある。基部は深い心形。側葉は 10~12 対。葉柄は長さ 2~6cm で互生する。幹：平滑で厚く、灰白色~灰褐色。紙状に横にはがれる。花：1 本の木に雄花と雌花をつける。雄の花序は長さ約 15cm で垂れ下がり、雌の花序は長さ 4~6cm で枝先に 2~4 個つき、5 月頃開花。果実：果穂は、円柱形で長さ 6~9cm、径約 1cm で垂れ下がる。冬芽：長楕円状卵形、長さ 8~12mm。分布：北海道、本州、南千島。用途：高級家具材、建築材、器具材、楽器材など



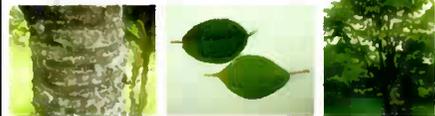
カツラ (カツラ科)

平地~山地の沢沿いや、やや湿った斜面に生える落葉樹で秋に黄葉する。高さ 20~30m、太さ 1~2m になる。材は均質で軟らかく加工しやすい。葉：長さ 4~8cm、幅 3~7cm で、先はまるいカツラしとがる。基部は心形で、縁に波状のきざざがある。新葉は紫赤色で、秋には黄葉する。葉毛で、裏面はやや白っぽい。葉柄は長さ 2~2.5cm で対生する。幹：帯灰褐色。ねじれるように深く縦に裂ける。花：雌雄異株で、雄花は多数の雄ずいがあり、葯は紅紫色。雌花の花柱は紅紫色で細長い。5 月頃開花。果実：袋果で長さ約 1.5cm、円柱形でややそりかえる。9~10 月に成熟し緑色から褐色。冬芽：三角錐形~円錐形で長さ 3~5mm。分布：日本。用途：街路・庭園・公園樹、家具材、彫刻材・基盤など



エノヤマザクラ [オオヤマザクラ] (バラ科)

山地に生える落葉樹で、高さ 20m、太さ 50~100cm くらいになる。北海道の代表的なサクラで、道内の 15 箇所の気象台・測候所のうち 9 箇所で桜開花の観本木になっている。葉：長さ 8~15cm、幅 4~8cm で、先は尾状に細長くともがり、縁にきざざがある。基部は切形~浅心形。蜜腺(腺点)は葉柄の上部にある。互生する。幹：暗褐色。平滑で皮目が横に並ぶ。花：淡紅色。花の径は 3~4cm。花びらは 5 枚で総花柄はほとんどない。5 月に開花。果実：球形で径 6~8mm、赤色から紫黒色になって熟す。冬芽：卵形~長卵形で先はとがり、長さ 5~7mm。花芽はやや円みがあり、互生する。分布：北海道、本州中部以北、千島、サハリン、朝鮮。用途：庭園、公園・街路樹、家具、彫刻材など



カシワ (ブナ科)

海岸から山地の日当たりのよい所に生える落葉樹で、高さ 15~20m、太さ 80~100cm になる。葉は餅を包むのに使われる。葉：長さ 12~30cm で、ふちに波状の大きなきざざがあるが、先はとがらない。葉柄は極めて短く、裏面には毛を密生し互生する。幹：黒褐色~灰褐色で厚く深く縦に裂ける。花：雄花序は黄緑色で長さ 8~15cm になり新枝の下部に下垂し、雌花序は黄緑色でやや紅色を帯び、新枝上部の葉腋につき 5~6 月に開花。果実：堅果(ドングリ)は長さ 1.5~2cm、ドングリの帽子は杯状で、多数の総苞片がらせん状に蜜に生え反り返る。冬芽：頂芽は広卵形か五角錐形で長さ 5~10mm。分布：日本、南千島、朝鮮、中国。用途：雑などの器具材、家具材、公園樹など



オニグルミ (クルミ科)

やや湿ったところに生える落葉樹で、高さ 20~25m、太さ 60~80cm になる。葉の縁がいかんざりなので鬼グルミの名がある。葉：長さ 8~12cm、幅 3~8cm の小葉が 9~21 枚集まって、鳥の羽状の 1 枚の葉をつくる。小葉のふちに細かいきざざがある。裏に多数の毛が生える。葉は互生する。幹：暗灰色で縦に裂ける。花：1 本の木に雄花と雌花をつける。雄花は淡緑色、穂状、長さ 10~25cm で垂れ下がり、雌花は赤~淡赤色、穂状、長さ 6~13cm で直立か斜上し、5~6 月頃開花。果実：卵円形で長さ 3~4cm、黄緑色で滑毛を密生。核(クルミ)は楕円形で長さ約 3cm、10 月に成熟する。冬芽：裸芽で円錐形、長さ約 16mm、側芽は互生する。分布：日本、サハリン。用途：家具材、銃床、公園樹、種子は食用など



ケヤマハンノキ (カバノキ科)

平地から山地に生える落葉樹で、高さ 15~20m、太さ 30~50cm くらいになる。肥料木として他の木があまり育たない痩せた土地などに植えられることがある。葉：長さ 6~14cm、幅 4~13cm で、縁に浅い欠刻状のきざざがある。側脈は 6~8 対。裏面は初め毛が生えるのがち無毛で、裏に赤褐色の毛が生える。幹：灰褐色~黒褐色で平滑で、皮目がある。花：1 本の木に雄花と雌花をつける。雄の花序は長さ 7~9cm の尾状で垂れ下がり、雌の花序は長さ約 4cm で、葉のでる前に咲く。果実：卵状楕円形で長さ 15~25mm、9 月成熟。冬芽：楕円状倒卵形で長さ 6~10mm、互生。分布：日本、サハリン、朝鮮、シベリアなど。用途：土木・器具材、砂防用、公園・街路樹など



シナノキ [アカシナ] (シナノキ科)

山地に生える落葉樹で、高さ 15~20m、太さ 60~80cm くらいになる。花は蜂の蜜源。葉：斜心円形、長さ 4~10cm、幅 4~8cm で、先は急にとがる。ふちに鋭いきざざがある。基部はややゆがんだ心形。両面ともほぼ無毛。葉柄は長さ 2~5cm で互生する。幹：暗灰褐色で縦に浅く裂ける。花：淡黄色。花の径は約 1cm で、十数個が集まってつく。花弁は広倒披針形で円頭、長さ約 5mm、長さ 3~6cm の苞葉がある。6~7 月に開花。果実：やや球形で長さ 5~7mm、灰褐色で、表面に短い毛を密生し、子葉は掌状に 7 裂する。10 月に成熟する。冬芽：広卵形で長さ 7~10mm で無毛、互生する。分布：日本、中国など。用途：公園・街路樹、建築・器具材、パネヤ材など



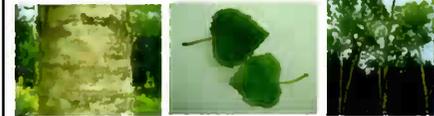
ナナカマド (バラ科)

山地に生える落葉樹で、高さ 10~15m、太さ 30~40cm くらいになる。道内 35 市町村で、市町村の木に指定されている。葉：長さ 2.5~9cm の小葉が鳥の羽状につき、全体で長さ 12~24cm になる。小葉は 9~17 枚で向かいあってつく。小葉の長さは 3~8cm、先は鋭くとがる。縁にするといざざがある。葉は互生。幹：灰褐色~灰黒褐色。深く裂け、大きな皮目がある。花：径 10~12cm の複散房状花序に、径 6~10mm の白色で花弁 5 枚の花を多数つける。6 月開花。果実：径 5~6mm の球形で、9~10 月に赤熟する。かく片は残り内曲する。冬芽：長卵形~長楕円形で先はとがり、頂芽は長さ 12~18mm、互生する。分布：日本、南千島、サハリン、朝鮮など。用途：庭園・公園・街路樹、花材など



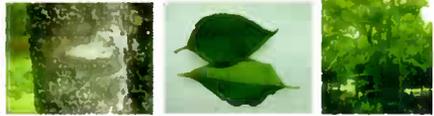
シラカンバ [シラカバ] (カバノキ科)

日当たりのよい所や山火跡地などに生える落葉樹で、高さ 20~25m、太さ 40~60cm くらいになる。名前は「白皮」がなまるとされる。葉：三角状広卵形、長さ 5~8cm、幅 4~6cm で、先はとがり縁にきざざがある。基部は広くさび形で、まれに浅心形。側脈は 6~8 対で、秋に黄葉し互生する。幹：白色。薄く紙状に横にはがれる。花：1 本の木に雄花と雌花をつける。雄花序は尾状で長さ 5~7cm、下垂し黄褐色。雌花序は直立し 2.5~4cm、紅緑色。5 月頃開花。果実：果穂は円柱形で下垂し、長さ 3~4.5cm、10 月成熟し、初め緑色のち淡褐色。冬芽：長楕円形~長卵形、長さ 5~10mm。分布：北海道、本州中部以北、アジア東北部など。用途：公園・街路樹、器具材、工芸材、パルプ材、割箸など



ハシドイ [ドスナラ] (モクセイ科)

山地に生える落葉樹で、高さ 8~12m、太さ 20~40cm くらいになる。葉：長さ 6~12cm、幅 3.5~9cm で、先は鋭くとがり、ふちにきざざはない。基部は円形~浅心形で、対生する。幹：灰褐色で、不規則な裂け目ができ皮目がまばらにある。エノヤマザクラに似る。花：黄色がかった白色で、花の径は約 5mm、花びらはやや漏斗形で、4 つに裂ける。長さ 15~25cm の花序に多数の花が集まってつく。7 月頃開花。果実：さく果は、狭楕円形で長さ 1.5~2cm、表面に皮目があり、熟すと 2 つに裂ける。黄緑色から淡褐色で 10 月頃成熟。冬芽：仮頂芽を 2 個つづ、球形~卵形で長さ 3~5mm、先はとがり、側芽は対生。分布：日本、南千島、朝鮮など。用途：公園・街路樹など



ダケカンバ [ダケカバ] (カバノキ科)

亜高山~高山帯に生える落葉樹で、高さ 15~20m、太さ 60~100cm くらいになる。高山では低木状になる。葉：三角状広卵形、長さ 5~10cm、幅 3~7cm で、先はとがり縁に不ぞろいな二重のきざざがある。基部は円形~やや切形、まれに浅心形。側脈は 7~12 (〜15) 対。幹：灰褐色で横にはがれる。老樹では縦裂。花：1 本の木に雄花と雌花をつける。雄花序は黄褐色、長さ 5~7cm で垂れ下がる。雌花序は紅緑色、長さ 2~4cm で直立する。5~6 月頃に開花。果実：果穂は斜め上向きにつき、長さ 2~4cm で径 1cm、9~10 月に成熟する。冬芽：長楕円形か卵形で、長さ 7~12mm、互生する。分布：北海道、本州中部以北、四国、千島など。用途：建築・器具材など



ハリギリ [センノキ] (ウコギ科)

山地に生える落葉樹で、高さ 20~30m、太さ 80~100cm くらいになる。枝は太く、先が鋭くとがった太い刺がある。葉：径 10~30cm で、手のひら状に 5~9 つに浅く~中ほどまで裂ける。裂片の先は鋭くとがり、ふちに細くて鋭いきざざがある。互生し枝先に集まる。天狗のうちわとも呼ばれる。幹：黒褐色~暗灰色。深く縦に裂ける。花：淡黄緑色で、花の径は約 4~6mm、花びらは 4~5 枚。7~8 月頃に開花し、枝先に総状の散形花序に多数の花が集まってつく。果実：球形で径 4~5mm、10 月に黒く熟し、球状に多数集まってつく。冬芽：頂芽は半球形~卵形で、長さ 5~9mm で有毛。分布：日本、南千島、サハリン、朝鮮、中国など。用途：建築・家具・器具材、公園樹など

